

## 平成29年度 第1回 蕨市立図書館協議会 会議録

開催日時 平成29年5月27日(土) 午前10時から11時30分まで  
開催場所 蕨市立図書館 3階 会議室  
議題 (1) 図書館の開館時間等について  
(2) 平成28年度事業報告について  
(3) 北町分館再開について  
(4) その他

公開非公開の別 公開(傍聴人なし)

出席者氏名 <出席委員>

町田敏子委員、堀越孝男委員、蓮沼昌代委員、近江睦代委員、永井雅幸委員、  
宮田ゆみ委員、岡本和子委員、田中京子委員、石丸祥子委員

<事務局：図書館職員>

小栗館長、桑島奉仕係長、菅谷管理係長

会議の内容 会議の主な内容については次のとおり。

管理係長から開会し、館長あいさつ、会長あいさつ、前回会議録の確認、資料確認の後、議題に入る。

### (1) 図書館の開館時間等について

館長が開館時間等について変更内容を説明し、質疑応答に入る。

委員：これまでは月曜の祝日と翌日火曜日がお休みであると、残念がっていた人の声を聞いたことがあるので、月曜日の祝日を開館していただけることは喜ばしいことです。

委員：これまではどうして、月曜の祝日と翌日火曜日もお休みだったのですか。

事務局：窓口について他市と比較した場合、蕨は直営、他市の中には委託で運営しているケースがあり、直営と委託ではサービス時間において差が出てしまう面がある。今後も引き続き調査研究をしながら、できるところから対応していきたい。

委員：祝日の月曜日を開館することで、年間の開館日としてはどうなるのか。

事務局：その分、開館日が増えるということになります。年に4～5日間増える見込みです。

委員：それが現状の体制で、やれるというのであれば、一番いい方法だと思います。

委員：あとは広報活動ですね。近隣市が祝日の翌日は開館しているため、蕨も開館しているという思い込みがあるので、図書館カレンダーをはじめ、通りに面した掲示板に大きな文字で掲示するなど、いろいろPRしてもらいたい。

委員：掲示板については、私も見にくいと思っていたので、私が協力しますので、図書館にはパウチ加工等のフォローをお願いしたい。また、開館時間の延長については、人件費等の面で難しいというのであれば仕方がないことだが、1時間延長の試行については、試行してみないと分からない面もあるので、次回検討する際は、まずは試行してみてもいいから検証していただきたい。

委員：同じく延長時間の試行については、1時間延長では効果が認められないだろうという判断で、午後8時まで、9時までと考えてしまうのは、職員の現状としても難しいでしょうし、一足飛びだと思ってしまうので、まずは試行をしたうえで、検討願いたい。

図書館の開館時間等について承認される。

## (2) 平成 28 年度事業報告について

管理係長が資料 1 の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

**委員**：福祉・児童センターでの貸出については、図書館利用券が必要なのか。

**事務局**：福祉・児童センターには端末機を設置していないので、利用者には名前や住所、書名を用紙に記入していただき、センターの職員に管理してもらっている。

**委員**：福祉・児童センターに貸し出している図書は、分館のようにシール等で識別できるようにしているのか。また、返却ポストに返せるのか。

**事務局**：分館と違って、2 か月に 1 回、本をすべて入れ替えているため、識別は行っていない。今のところ返却ポストに返却された事例はないが、仮にポストに返却しても、それが福祉・児童センターの本であると把握できるので、問題はありません。

**委員**：当初は試行という形で実施していたが、今後も地域のニーズがあるようであれば、定着させていく考えか。

**事務局**：すぐに止めることは考えていないので、今後も実績を見て判断していきたい。

**委員**：子ども読書の日やこどもの日に倍貸をしていたが、それ以外の日について、今後も貸出冊数に変更はないのか。

**事務局**：近隣市では 10 冊やそれ以上のところもあるが、貸出冊数を増やすに伴い、返却作業や配架作業など人員の関係があることから、現状の人員体制では限界があるので、人員体制を整える必要がある。

**委員**：毎年、少年センターの推奨図書を提供しているが、図書館での効果はいくらかあるのか。

**事務局**：夏休みに入ると、全国や埼玉県の課題図書とともに、少年センターの推奨図書も、感想文コーナーとして設置しており、多くの子どもたちに借りられていることから、一定の効果はあると思います。

**委員**：ボランティア講習会について、本の修理ボランティアのほかに、読み聞かせボランティアの講習会を行う予定はあるか。小さいお子さんを持つお母さんたちから、人前で話すのは恥ずかしいとか、どうやって読み聞かせたらいいのか分からないという声を聞いた。

**事務局**：ボランティア講習会という予算枠の中で、毎年、何を行うかを検討しているので、そうした声も受け止めながら、内容についてはバランスよく考えていきたい。

**委員**：読み聞かせの講習会の場合、権威のある方や自論を持つ方を講師に招いて、基礎から学んでもらうのも 1 つの方法だが、あまりにも敷居が高くなかなか参加者が広がらない。例えば小学校で活躍しているお母さんが講師になるなど、学びあいレベルのものでいいので、そうした場所と時間を提供してくれば参加者も増えるのではないか。蕨てんとうむしの会などに依頼するのはいかがでしょうか。

**委員**：市内で読み聞かせをしている団体がいくつもあるので、こうした団体を講師と呼んでもらうのは、身近だと思うし、実際に子どもたちと接して活動していて、現場のことも分かっているのでは良いのではないかと思う。

**事務局**：新たに策定する子ども読書活動推進計画にも関連しますが、こうした団体の情報を把握して、求めている人たちに繋いであげるのも、図書館の事業の 1 つだと思うので、今後検討させていただきます。

**委員**：紙芝居は子ども向けのものでほとんどなので、高齢者向けの紙芝居も増やしてほしい。

**委員**：神話の紙芝居などは、内容が子どもには難しいが、大人だと共感を持てる内容の作品もある

ので、さまざまな年齢層に見てもらおう観点で、購入していただけたらいいと思う。

**委員**：私も長年、紙芝居に関わっていて、継続して開催されている紙芝居サミットでも、子どもから高齢者までさまざまな年齢層に楽しんでもらう紙芝居の勉強会が行われているので、こうした内容が図書館にも反映されるといいですね。

**委員**：リサイクル本フェアについて、団体にお知らせするなかで、留守家庭児童指導室にも案内をしていますか。留守家庭児童指導室が増設しているのので、特に新しい施設は遊ぶものもほとんどない状態だそうなので、本があると助かります。特に図鑑等は、予算的になかなか購入できないので、古いものでもいいので、回していただきたいです。

**事務局**：留守家庭児童室にも通知していますが、児童書は汚れや破損などで、廃棄になってしまう割合が高いため、実際のリサイクル本フェアでも提供している児童書は非常に少ないという状況です。今後は購入と除籍のバランスを考えながら対応していきたいと思います。

**委員**：施設向けには冊数制限はあるのですか。

**事務局**：今回は制限を設けませんでした。

**委員**：提供できる本が少ないのであれば、冊数制限などの対策も必要なのではないでしょうか。

**事務局**：今後は提供できる本の状況を見ながら、検討します。

**委員**：各施設がどんな本を必要としているのか、調査してみたいかがでしょうか。そうすればリサイクル本の使い方も広がるのではないかと思います。

**事務局**：一度、調査してもいいですね。各施設で場所の確保や冊数の希望があるでしょうから、調査して全体を見て調整できるような形がとれたらと思います。

**委員**：予算執行の中にある耐震工事についての状況は。

**事務局**：工事自体は平成 30 年度に行う予定で、今年度は工事をするための設計をしてもらい、そこで工事の規模や閉館時期などが分かるので、こうした情報を収集して、30 年度に向けての準備を進めていく予定です。

**委員**：改めて見ると、子ども向けの事業をたくさん行っているのありがたいのですが、例えば小学生向けの事業は、学校に向けて案内はされていますか。もしされているのであれば、先生にも声を掛けていただいて、先生から児童たちに伝えてもらうことで、参加者ももっと増えるのではないのでしょうか。

**委員**：学校行事と重なると、どうしても参加者は減ってしまうので、学校等と日程の調整をしてもらえたらいいと思います。

**事務局**：定例の行事については、この曜日のこの時間に図書館に行けば、行事をやっているという認識を持ってもらいたいという意図で固定しているため、そのあたりとの兼ね合いが難しいところでは。

**委員**：図書館通信のようなものを町会で回覧して PR してみたいかがでしょう。ホームページではお知らせしていますが、ご年配の人など活字で見たいという人も多いと思うので。

### (3) 北町分館再開について

管理係長が資料 2 の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

**委員**：新たに増設する本棚は低層の棚ですか。

**事務局**：はい。親子スペースに L 字型に並ぶ 3 台と一般書の棚は 1 メートルくらいの低層の棚です。

**委員**：親子スペースは全面ガラスの角にあるので、冬は日差しがあれば暖かいと思うが、夏はかな

り暑くなって、冷房だけでは対応できないのではないか。

**事務局**：窓際にロールカーテンがあるので、それを下ろして遮光します。

**委員**：書棚はすべて固定するのでしょうか。

**事務局**：固定はせず、従来通りの仕様になります。

**委員**：貸出簿の受付はどこになりますか。

**事務局**：現場の状況を見ながらになりますが、出入口の角のスペースに設ける予定です。

#### (4) その他

**委員**：リサイクル本で不足している児童書について、図書館への寄贈をもっと積極的に PR してみようか。

**事務局**：保管場所の問題から、寄贈はリサイクル本フェアの1か月前に限って受付している状況である。その中でも児童書はそれほど多くはないが、PR 方法については考えていきたい。

**委員**：中央東小学校では、一中の図書ボランティアと連携して、中学生になったら読まなくなるような不用本を集めて活用している。これを中学校全体に広げられるように慎重に計画を進めているところだ。

**委員**：本を読む習慣のある子どもは、お気に入りの自分の本があって、それらが溜まっていく傾向にある。きっと本の状態も良いので、こうした本を上手く回収できて、欲しい人にあげられたらいいと思う。

**委員**：3月・4月は忙しくて、どうしても家のことを片付ける余裕がないので、5月ぐらいに時期をずらせば、寄贈できる人も増えて、冊数もまた違ってくるのではないだろうか。

会長代理から閉会あいさつを行い閉会となる。